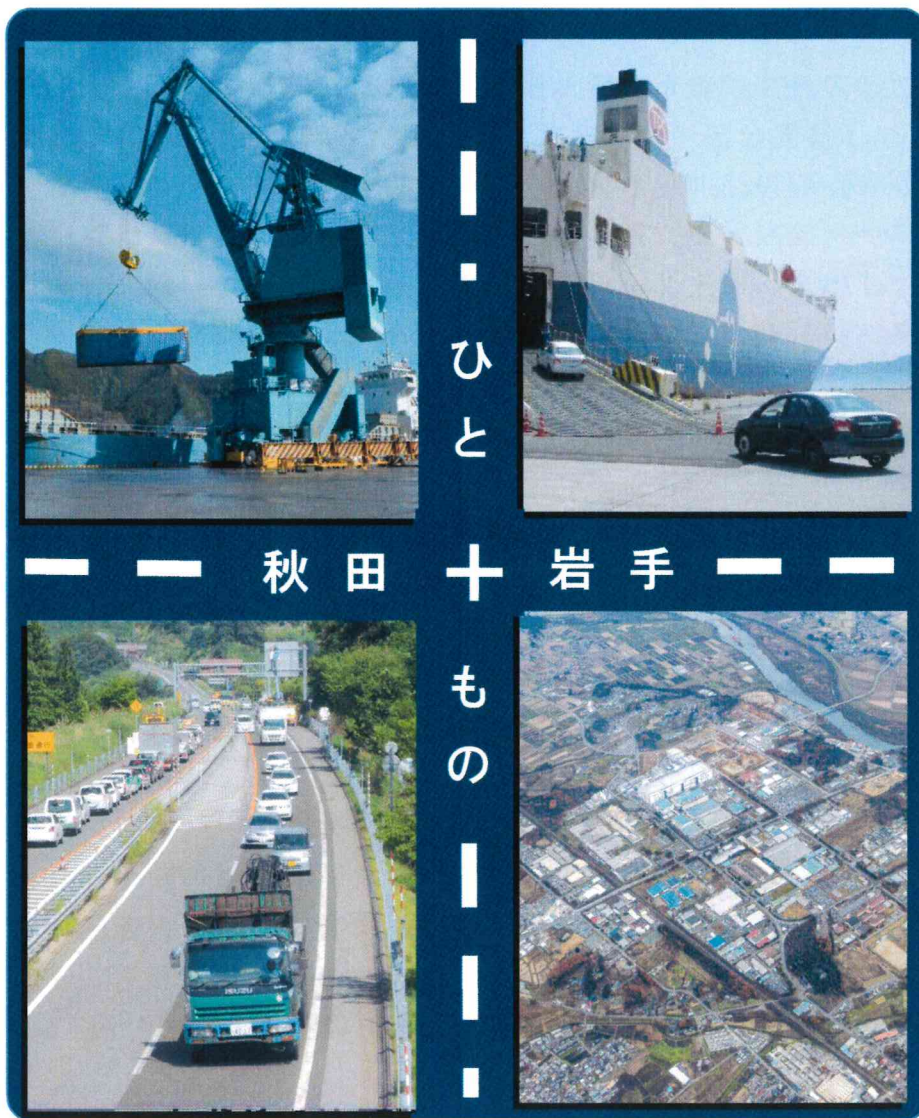


岩手県知事 達 増 拓 也 様

要 望 書



令和5年11月8日

東北横断自動車道釜石秋田線

北上 JCT 江刺田瀬 IC 間整備促進期成同盟会
北上金ヶ崎パシフィックルート整備促進期成同盟会

東北横断自動車道釜石秋田線北上JCT江刺田瀬IC間の整備促進について

1 現況

「東北横断自動車道釜石秋田線」は、平成31年3月9日に全線が開通したことにより、太平洋側と日本海側の人流、物流を担う社会基盤として、その重要性が益々増しております。また、秋田自動車道の4車線化整備も同年3月に湯田IC～横手IC間の約7.7kmが、令和3年3月には北上西IC～湯田IC間の約19.5kmが4車線事業化されるなど大きく前進しております。

近年、北上市以南の岩手県内陸南部地域には、北東北3県を配送エリアとした物流企業の進出が続いているほか、東北横断自動車道釜石秋田線の沿線地域では新たな企業立地や工場の増設が続き、企業活動が一層活発化しております。

また、地域医療サービスの向上においても、岩手中部医療圏（花巻市、北上市、遠野市、西和賀町）の中核病院である「岩手県立中部病院」や同地域の周産期母子医療センターである「北上済生会病院」が北上市に立地しており、東北横断自動車道釜石秋田線は遠野市方面からの安全な救急搬送等に寄与しています。

2 課題

しかしながら、現状、東北横断自動車道釜石秋田線は北上JCTから花巻JCTへ北上し大きく迂回するルートとなっており、秋田方面または仙台方面から釜石方面に向かう場合は、北上JCTから江刺田瀬ICまでを直線的に接続した場合と比較し、移動時間に大きなロスを生じているところであり、釜石秋田線利用者の多くは、江刺田瀬ICで乗降し国道107号を利用している状況にあります。

国道107号では、梁川口内トンネルの開通により最大の難所は解消されたものの、急カーブ・急勾配、冬期間の路面凍結など事故を誘発する要因が多く残されており、物流企業等から直線化を望む声をいただいております。また、釜石港や大船渡港発着のコンテナ貨物の輸送、とりわけ物流業界における2024年問題への対応や、遠野市方面から北上市への救急搬送の走行性・速達性の向上が急務であり、北上JCTと江刺田瀬IC間を直線的に結ぶ横軸の強化は重要課題であります。

3 整備により期待される効果

- (1) 円滑な物流ルートを確保することにより、速達性の向上や港湾へのアクセス向上による物流手段の増加など効率化が図られ、更なる企業立地や産業振興が見込まれる。
- (2) 遠野市から県立中部病院等への安定した救急搬送ルートが確保されるほ

- か、国道 107 号の事故削減が見込まれるなど安心・安全の向上に繋がる。
- (3) 岩手県・秋田県の観光拠点へのアクセス向上で広域周遊の拡大が図られる。
 - (4) 経路の増加により冬期間や災害発生時においても安定したネットワークの代替性が確保される。

4 要望

以上のことから、岩手・秋田両県における広域での経済活動の一層の発展と拡大、安心・安全な生活環境の確保のため、東北横断自動車道釜石秋田線「北上 JCT～江刺田瀬 IC」間の直線化整備の実現に向け、次の事項について強く要望します。

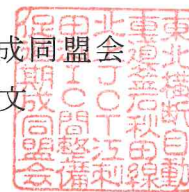
- (1) 北上JCTと江刺田瀬IC間の直線化は、太平洋側と日本海側の更なる人流・物流を促進し、地域経済の活性化に寄与し、「岩手県新広域道路交通計画」に掲げる基本方針の4つの柱とも整合していることから、同計画に高規格道路として位置付けること。
- (2) 沿線地域における新たな企業立地や工場の増設等に伴う企業活動を支え、冬期間や緊急時においても円滑な走行が可能な交通基盤を確保するため、東北横断自動車道釜石秋田線北上JCT江刺田瀬IC間を直線的に接続する高規格道路の整備促進を図ること。

令和5年11月8日

東北横断自動車道釜石秋田線

北上 JCT 江刺田瀬 IC 間整備促進期成同盟会

会長 北上市長 八重樫 浩 文



東北横断自動車道釜石秋田線直線化ルート

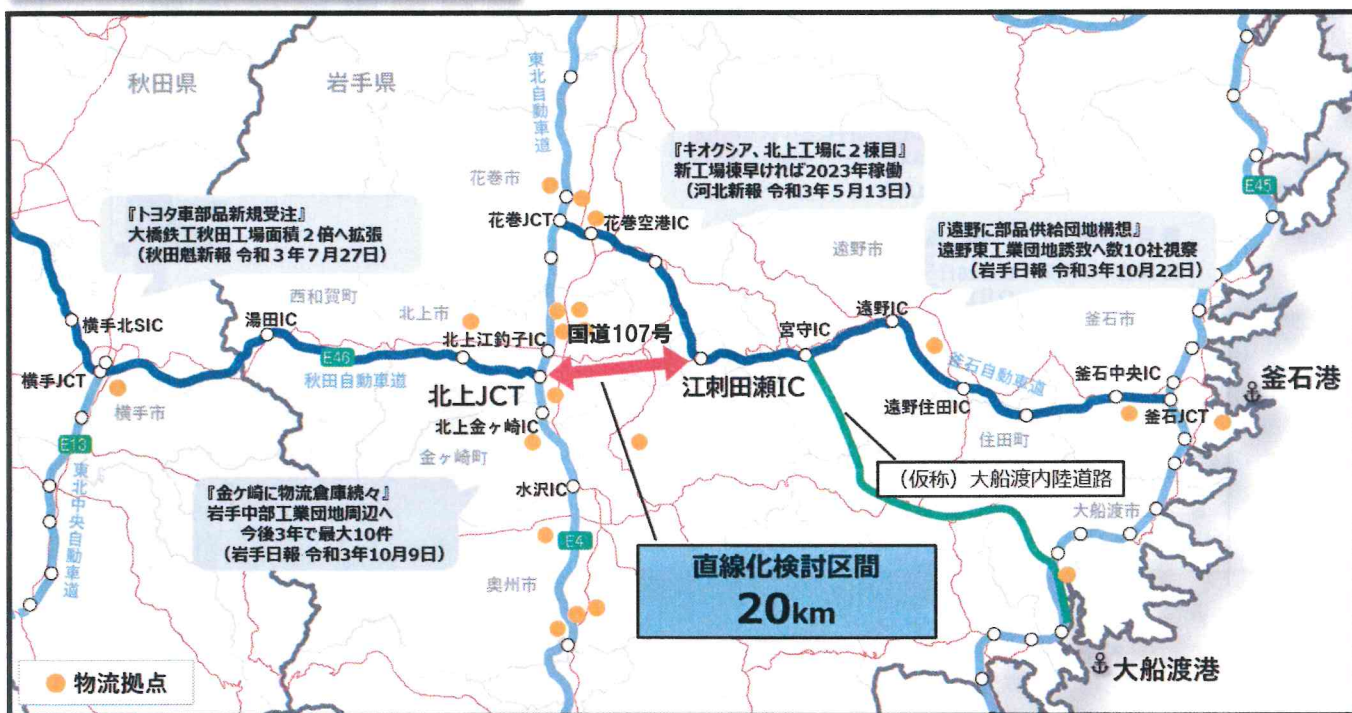
要望箇所図



北上JCT-江刺田瀬IC間を
直線で結ぶ高規格道路を整備

⇒ 走行距離、走行時間とも大幅に改善

物流の効率化、地域間の人流の促進により、
地域経済をさらに発展



期待される効果

円滑な物流ルートの確保

物流経路の速達性向上、港湾へのアクセス向上による物流手段選択の増加により、物流を効率化。更なる企業立地や、地域企業間の取引拡大により、産業発展に寄与。

広域周遊の拡大

岩手県・秋田県の観光拠点へのアクセス向上で、広域周遊を拡大。

安定した救急搬送のルート確保

県立中部病院や北上済生会病院への救急搬送の走行性・速達性が向上。

ネットワークの代替性の確保

経路選択の増加により、冬期や災害発生時でも安全で安定した走行を確保。

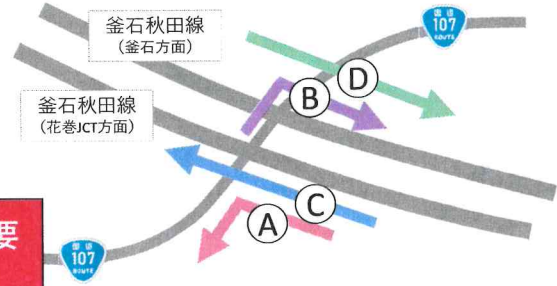
東北横断自動車道釜石秋田線直線化 ルート整備の必要性 (1/2)

地域の状況 道路

江刺田瀬ICの交通量

- 江刺田瀬ICを通過する車よりも、江刺田瀬ICを出て国道107号に入る車（国道107号から江刺田瀬ICに入る車）の割合が多い
- ただし、大型車※については、降雪や路面凍結時には、釜石秋田線を利用する車の割合が増える（国道107号での事故回避）

※大型車：大型トラック、中型トラック、ミキサー車、タンクローリー、けん引車、バス、マイクロバス



**ルート整備による速達性の向上が必要
(交通需要を的確に反映)**



国道107号を利用して、釜石港から北上市や金ケ崎町に荷物を運んでいます。冬期の降雪や路面凍結時は危ないので、釜石秋田線を利用して花巻方面から迂回しています。

釜石港ドレージ事業者ヒアリング



- 調査時間 9:00~16:00
- 調査日と天気
 - 11月16日 (A,C) ☀ 17日 (B,D) ☁
 - 12月15日 (A,C) ☁ 16日 (B,D) ☁ ※積雪あり
 - 1月17日 (A,C) ☁ 18日 (B,D) ☁

国道107号の課題

- 梁川口内トンネルの開通により難所は解消されたものの、急カーブや勾配が大きい箇所が存在
- 冬季間は路面が凍結するため、安全・確実なトラック輸送の支障となっている



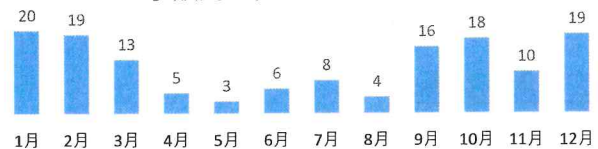
冬季間の事故防止対策が必要

● 事故発生箇所 (2017年~2021年)



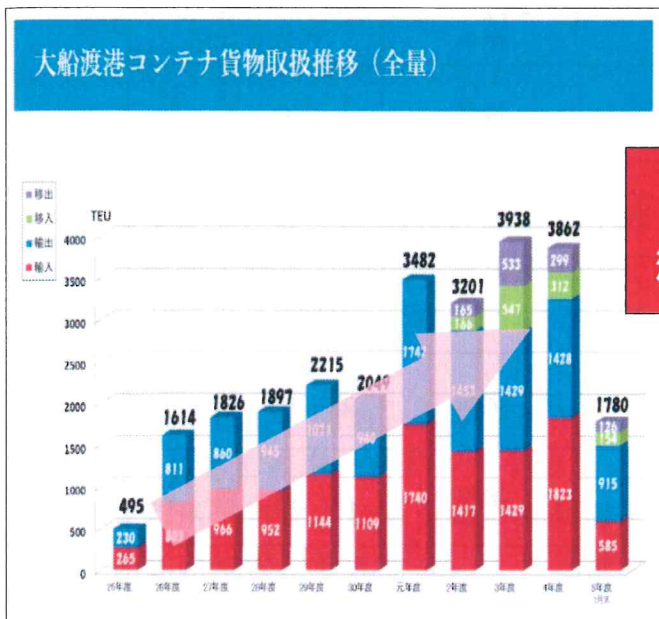
坂道かつ急カーブが連続する区間

事故発生件数 (2017年~2021年)

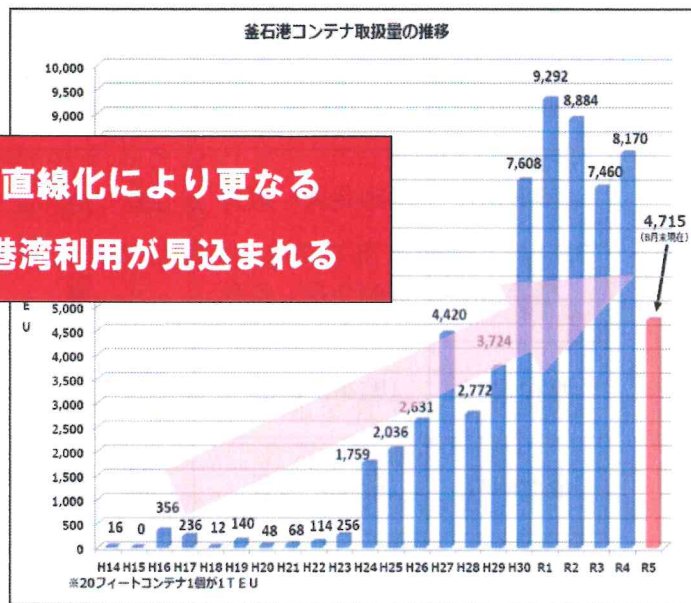


東北横断自動車道釜石秋田線直線化 ルート整備の必要性 (2/2)

定期航路の開設等によりコンテナ取扱量増加する港湾へのアクセスが向上



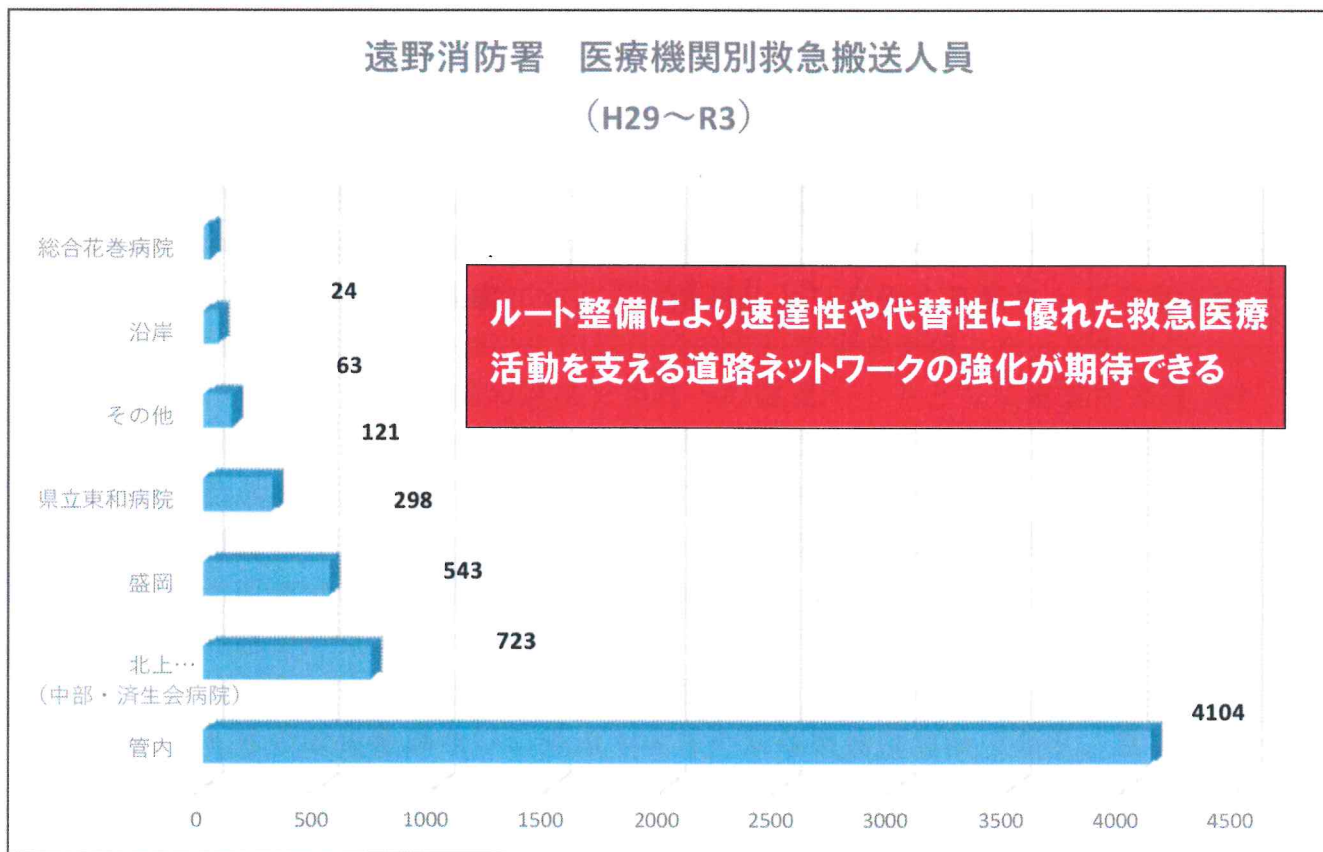
▲大船渡市HPより (R5. 5月末現在)



直線化により更なる
港湾利用が見込まれる

▲釜石市HPより (R5. 8月末現在)

遠野市からの救急搬送



ルート整備により速達性や代替性に優れた救急医療
活動を支える道路ネットワークの強化が期待できる

構成団体名簿

○東北横断自動車道釜石秋田線北上 JCT 江刺田瀬 IC 間整備促進期成同盟会

自治体			議会	
団体名	職名	代表者氏名	職名	代表者氏名
北上市	(会長) 市長	やえがし ひろ ふみ 八重樫 浩 文	議長	やえがし しち ろう 八重樫 七 郎
釜石市	(副会長) 市長	の だ たけ のり 野 田 武 則	議長	き むら りん ぞう 木 村 琳 藏
横手市	(副会長) 市長	たか はし だい 高 橋 大	議長	す ず き こと 寿松木 孝
西和賀町	(監事) 町長	ない き かず ひこ 内 記 和 彦	議長	たか はし まさ かず 高 橋 雅 一
金ヶ崎町	(監事) 町長	たか はし かん じゅ 高 橋 寛 寿	議長	い とう まさ あき 伊 藤 雅 章
大船渡市	市長	ふち がみ きよし 渕 上 清	議長	み うら たかし 三 浦 隆
遠野市	市長	た だ かず ひこ 多 田 一 彦	議長	た だ つとむ 多 田 勉
奥州市	市長	くら なり じゅん 倉 成 淳	議長	すが わら よし かず 菅 原 由 和
住田町	町長	かん だ けん いち 神 田 謙 一	—	
秋田市	市長	ほ づみ もとむ 穂 積 志	議長	すが わら たく や 菅 原 琢 哉
大仙市	市長	おい まつ ひろ ゆき 老 松 博 行	議長	ふる や たけ み 古 谷 武 美

北上金ケ崎パシフィックルート of 整備について

1 現況

県南の北上・金ケ崎・奥州地域は、自動車や半導体関連産業等の集積により安定した雇用が創出されており、経済に好循環をもたらす地域となっています。

いわて県民計画では「北上川バレープロジェクト」を掲げ、県南地域を含む北上川流域の強みを生かした産業振興・生活環境の更なる充実により働きやすく、暮らしやすい、新時代を切り拓く先行モデルとなるゾーンの創造を目指しております。また、この計画に掲げる「三陸防災復興ゾーンプロジェクト」では、交通ネットワークや港湾機能などを生かした地域産業の振興を図り、岩手県内と国内外をつなぐ海側の結節点として、三陸地域の持続的な発展を目指しています。

北上南部工業団地、岩手中部工業団地、江刺中核工業団地を有するこの地域には、自動車産業とそれを支える多くの部品工場のほか、食品、製紙会社など、港湾利用が想定される企業が多数進出しており、新たに、江刺フロンティアパークⅡの造成や物流企業による北東北エリアの中継輸送拠点と位置付ける新たな倉庫の建設が着手されるなど、開発が一層活発化しております。また、令和4年度から県産品の輸出促進のためのコンテナ貨物の国際チャーター便が運航開始されるなどの物流の変化も表われ、今後の港湾・物流戦略においても「北上川バレープロジェクト」と「三陸防災復興ゾーンプロジェクト」を結び、釜石港及び大船渡港など太平洋側とを繋ぐルートの充実が求められております。

2 課題

しかしながら、当地域から江刺田瀬 IC を結ぶ国道 456 号においては、県道 255 号との交差点以北の幅員狭小及び急カーブ、旧広瀬小学校前の幅員狭小及び急勾配、北上市口内町地内における幅員狭小及び連続する急カーブなどにより、大型車両の円滑な通行並びに沿線住民の安心安全の支障となっております。また、それぞれの工業団地間の連絡と港湾への物流ルートとして重要な県道 108 号金ケ崎橋においても、幅員の狭小や急カーブなど、安全で安心な通行に支障となる要因が多く存在しております。さらに、国道 456 号においては、釜石秋田線全線開通後の交通量が 2 割程増加し、大型車両の混入率が倍増するなど交通の変化が顕著であり、造成中の江刺フロンティアパークⅡの完成後には更なる交通量の増加が見込まれております。

これらのことから、当地域と沿岸地域を結ぶ円滑な交通環境を確保するための国道 456 号の改良整備並びに県道 108 号の新橋整備は急務であり、重要課題であります。

3 整備により期待される効果

- (1) 輸送時の衝撃軽減や交通事故防止による安全輸送が図られる。
- (2) バイパスの新設により約 2.6km、時間にして約 4 分短縮が図られるとともに、沿線住民の交通事故防止に繋がる。
- (3) 物流拠点間のアクセス向上により取引の拡大が見込まれる。
- (4) 通勤圏拡大による人材確保、従業員の通勤負担の軽減が図られる。

4 要望

以上のことから、内陸と沿岸の連携強化による経済活動の発展を県内全域に波及させ、県民全体の豊かな暮らしを実現するため、北上金ケ崎パシフィックルートに掲げる産業拠点道路を確立すべく、次の事項について強く要望します。

- (1) 県道 255 号から国道 456 号を經由し国道 107 号に至るルートにおける幅員狭小区間の拡幅整備及び急カーブの緩和、並びに所要時間短縮等のためのバイパスを整備すること。
- (2) 新金ケ崎大橋の新設による当地域と港湾を結ぶ大型トラックの円滑な通行環境を確保すること。

令和 5 年 1 1 月 8 日

北上金ケ崎パシフィックルート整備促進期成同盟会
会長 北上市長 八重樫 浩 文



北上金ヶ崎パシフィックルート 要望箇所図

目的

- 観音堂橋付近～国道107号までのバイパスの整備
- 旧広瀬小学校前の拡幅整備、勾配緩和
- 県道255号との交差点以北の奥州市江刺広瀬川原地内までの拡幅及び急カーブの緩和
- 新金ヶ崎大橋の新設



拡大



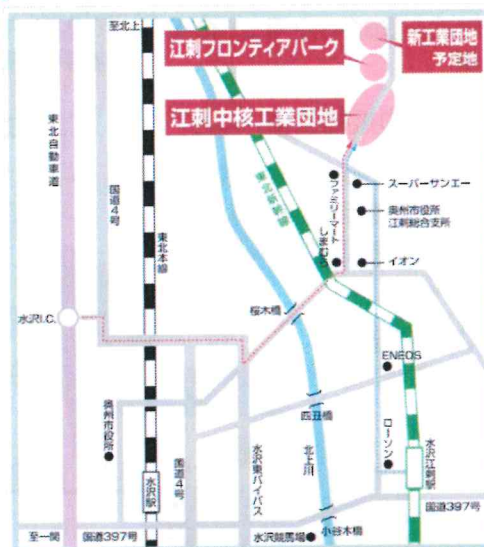
北上金ケ崎パシフィックルート 整備の必要性 (1/2)

産業の集積が進む奥州市新工業団地



予約時点で既に完売状態

新工業団地予定地 位置図



新工業団地 土地利用計画図 (予定)

規模 約24ヘクタール (企業用地面積17.8ヘクタール)

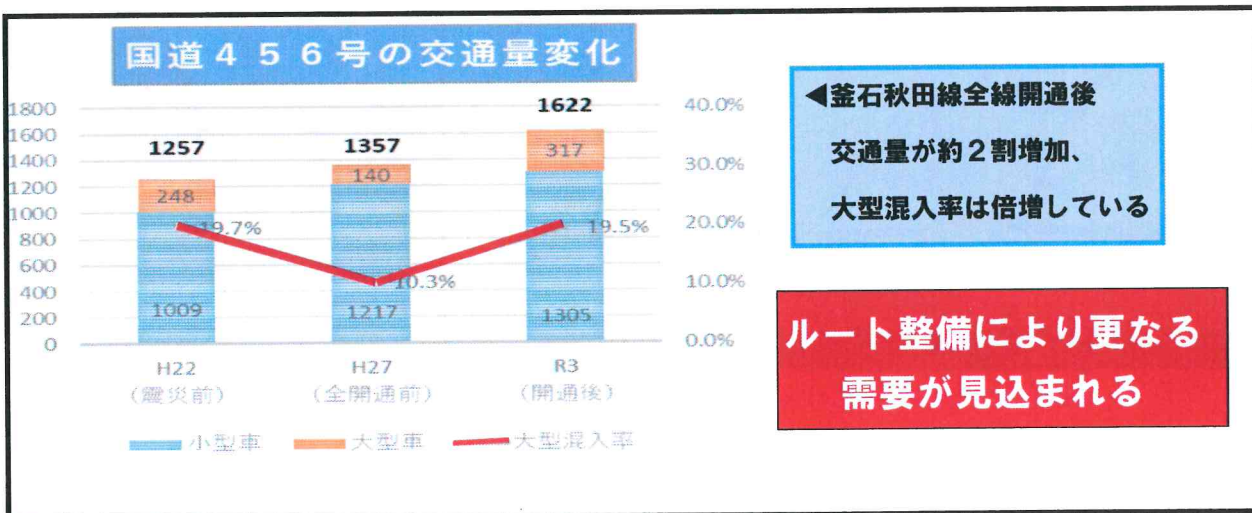


(注意) 令和3年9月時点での計画のため、今後変更となる可能性があります。

詳細位置図



▲奥州市HP



北上金ヶ崎パシフィックルート 整備の必要性 (2/2)

金ヶ崎橋付近の状況



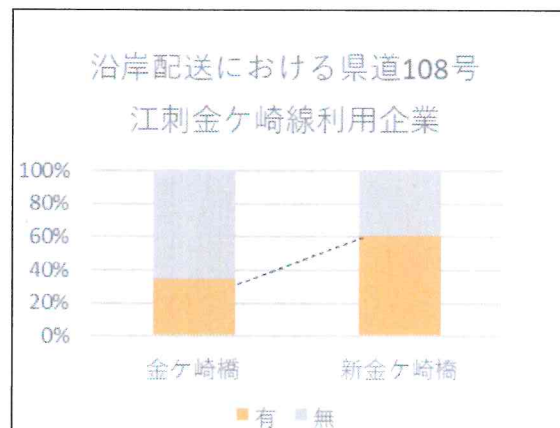
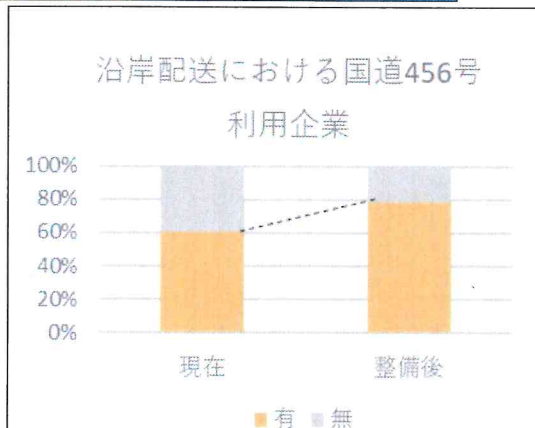
金ヶ崎橋付近
歩道がないことから危険な状況



岩手銀行金ヶ崎支店前交差点付近
道路幅員が狭い状況

各工業団地企業アンケート結果

整備後利用を希望する企業



約20%の利用者増が見込まれる

その他意見等

- 釜石港・大船渡港への輸出品が増える情報もあるので整備に期待している。
- 沿岸方面での業務もあり、整備されることで移動時間の短縮・道路条件が良くなり、安全面での効果は大きいと考える。
- 県道、国道の狭い場所が整備されるなら是非利用したい。また、除雪、融雪なども考慮し、一年中快適利用できる嬉しい。本当は江刺田瀬インターにJCTを新設し、北上金ヶ崎JCTと高速を繋いで欲しい。

構成団体名簿

○北上金ケ崎パシフィックルート整備促進期成同盟会

自治体			議会	
団体名	職名	代表者氏名	職名	代表者氏名
北上市	(会長) 市長	やえがし ひろ ふみ 八重樫 浩 文	(監事) 議長	やえがし しち ろう 八重樫 七 郎
奥州市	(副会長) 市長	くら なり じゅん 倉 成 淳	議長	すが わら よし かず 菅 原 由 和
金ケ崎町	(監事) 町長	たか はし かん じゅ 高 橋 寛 寿	議長	い とう まさ あき 伊 藤 雅 章
釜石市	市長	の だ たけ のり 野 田 武 則	議長	き むら りん ぞう 木 村 琳 蔵
大船渡市	市長	ふち がみ きよし 渕 上 清	議長	み うら たかし 三 浦 隆

2023年(令和5年)6月22日(木曜日)

岩手日報

(昭和29年)1月

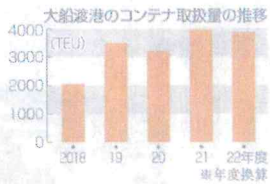
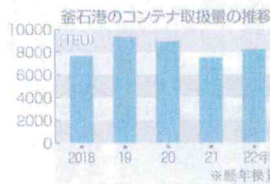
県内港湾コンテナ復調

県内のコンテナ取扱量が回復している。釜石港の2022年の取扱量は前年比9.5%増の8万7076TEU(1万TEU≒20万コンテナ1個)と3年ぶりに増加に転じ、大船渡港も国内向けがけん引して調子推移する。新型コロナウイルス禍からの経済回復や、トラック運転手の確保規制強化で人手不足が予想される24年問題が背景にあり、脱炭素の進めも追い風で、今後は一層の利用増が期待される。

釜石港は、国内主要港湾を結ぶ海外にコンテナを輸出入する「国際フェリー」、世界各港と直接つなぐ「外資」の両定期航路が主力。釜石市によれば、22年の取扱量は輸出が109万TEU(前年比9.0%増)、輸入が406万TEU(同10.1%増)といずれも伸びた。

ウクライナ危機の影響で紙の原料となるパルプの海外生産が落ち込み、県内製紙会社の輸出が大幅に増加。原料のボリアコロンや燃料の取り扱いは伸びた。コロナの感染拡大に伴いコンテナ船が減り取扱

2024年問題に対応 コロナ禍から経済回復



量が減少していたが、過去とついでに全国に輸送する最高を記録した19年以降の取扱量が15.8%を占めるまで成長したことが全体を押し上げた。

商港の復興の背景には、内航コンテナ輸送航路の取組が15.8%を占めるまで成長したことが全体を押し上げた。

内航コンテナ輸送航路の取組が15.8%を占めるまで成長したことが全体を押し上げた。

内航コンテナ輸送航路の取組が15.8%を占めるまで成長したことが全体を押し上げた。

▲岩手日報(R5.6.22)

岩手の3地銀

岩手県の地方銀行が北上市や奥州市といった県南エリアで営業を強化している。県南エリアは製造業の集積地である。ここ数年はキオクシアや東京エレクトロ、シヤオウエレクトロなど半導体関連の設備投資が旺盛だ。拡大する資金需要を取り込むと、支店再編や営業体制の組み替えを急ぐ。

岩手銀行と北日本銀行、東北銀行の3行が8月下旬から相次いで県南エリアの営業体制刷新を発表した。東北銀行は10月、北上支店を「営業部」に引き上げる。営業部を置くのはこれまで本店のある盛岡のみだったが2部体制となる。格上げで決裁権限が強まり、県南エリアでより迅速な意思決定ができるようになる。

2番手の北日本銀行も11月、北上市内の川岸支店を店舗内店舗の方式で北上支店に統合する。営業人員を1カ所に集約する

県南の資金需要取り込み

岩手県の製造業は県南に集積している。県南の製造業の生産額は、2011年から2020年までJR東北本線に沿った「岩手」のエリアが中心だ。盛岡周辺は小売やサービス業、不動産などの割合が相対的に高く、北上や一関といった県南は製造業が集積する。

県の年報によると、2020年度の岩手県の製造業の総生産額は約7900億円、このうち北上支店や奥州市、花巻市など県南8市町で64%を占める。



半導体関連集積 追い風に

岩手銀行は10の工業団地を擁する。中でも東京エレクトロ、ソニー、日立などが集積している。同行の県内支店が、工場設備が高まれば「サテライト」として、周辺産業への波及効果も期待できる。

奥州市は10の工業団地を擁する。中でも東京エレクトロ、ソニー、日立などが集積している。同行の県内支店が、工場設備が高まれば「サテライト」として、周辺産業への波及効果も期待できる。

奥州市は10の工業団地を擁する。中でも東京エレクトロ、ソニー、日立などが集積している。同行の県内支店が、工場設備が高まれば「サテライト」として、周辺産業への波及効果も期待できる。

岩手日報(4日)盛岡市

岩手日報(4日)盛岡市

岩手日報(4日)盛岡市

▲日経新聞(R5.9.5)

新聞記事等 (2/5)

日 幸辰 2023年(令和5年)1月9日(月曜日) 総 合 (4)



SMCの遠野第2工場(同社提供)

空気圧制御機器大手のSMC(東京、資本金910億円、高田芳樹社長)が釜石、遠野両市に建設していた新工場がそれぞれ完成し、今月から順次操業を始める。自動車の組み立てや半導体製造などのラインに欠かせない部品を供給する拠点として、国内外の需要増に対応する。西工場では新たに900人程度を雇用する計画で、地域経済の活性化が期待される。

SMC新工場が完成

釜石・遠野 900人を採用へ

完成したのは釜石市岩井町の釜石第5工場(延べ床面積2万7018平方メートル)と、遠野市の遠野東工業団地に入る遠野第2工場(同2万5438平方メートル)。釜石で圧力制御機器などを生産し、2025年までに約600人を雇用する予定。遠野ではスイッチや真空機器を生産し、約300人を採用する計画だ。

SMCの千葉雄正製造本部長は「物価高などの影響で原材料の一部は値上がりしている。部関連と供給力を上げることが急務だ。新工場では雇用だけでなく、できるだけ岩手や近隣からの部品調達も増やしたい」と展望する。

新工場の操業は遠野第2工場が今月、釜石第5工場が3月を予定。奥ものづくり自動車産業振興室の十良沢福志室長は「県内企業との取引増加や雇用機会の提供などを通じて、若者の県外流出防止にもつながってほしい」と期待する。

SMC 空気圧制御機器の世界最大手で、釜石市と遠野市を含む国内6カ所の生産拠点を、世界約30カ国・地域に工場を持つ。国内生産比率は6割超で、海外向けが多い。円安を追い風に23年3月期決算では連結純利益2200億円(前期比14%増)を見込む。現在、釜石市では4工場が操業し約1200人、遠野市では1工場が約600人が働く。

SMCの千葉雄正製造本部長は「物価高などの影響で原材料の一部は値上がりしている。部関連と供給力を上げることが急務だ。新工場では雇用だけでなく、できるだけ岩手や近隣からの部品調達も増やしたい」と展望する。

▲岩手日報(R5.1.9)

東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ株式会社との立地調印式を行いました

更新日：2023年09月29日



(左から 東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ株式会社 執行役員 生産本部 本部長 浅井健太郎様、同 代表取締役社長 佐々木貞夫様、奥州市長 倉成淳、岩手県 副知事 菊池哲様)

東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ株式会社(本社：山梨県韭崎市、資本金：40億円、佐々木貞夫代表取締役社長)と奥州市の立地調印式を、3月20日に市役所で行いました。

同社はすでに市を代表する企業として立地し、最先端の半導体製造装置の製造等を行っているところであり、このたび、奥州市が現在造成中の工業団地「江刺フロンティアパーク2」において、さらなる事業拡張を進めることになったものです。

同地では、熱処理成膜装置・枚葉成膜装置の製造棟・物流倉庫の建設を予定されており、令和7年秋の操業を目指すとのことで、本市経済活性化へのますます大きな波及効果が期待されます。

▲奥州市HP(R5.9.29)

新工業団地 分譲好調

市が江刺市山梨町工業団地をめぐり、今年7月10日、分譲開始した。分譲開始後、分譲地は好調に売却され、7月10日現在、分譲地は約7割が売却された。分譲開始後、分譲地は好調に売却され、7月10日現在、分譲地は約7割が売却された。

江刺FパークII全区画に予約

市 次期候補地も整備検討へ

市が江刺市山梨町工業団地をめぐり、今年7月10日、分譲開始した。分譲開始後、分譲地は好調に売却され、7月10日現在、分譲地は約7割が売却された。分譲開始後、分譲地は好調に売却され、7月10日現在、分譲地は約7割が売却された。

半導体関連部品製造ミラプロ(山梨) 奥州・江刺に新工場完成



奥州市江刺の工業団地に完成したミラプロ東北工場

半導体関連部品メーカー「資本金9750万円、津金のミラプロ(山梨東北社)」が奥州市江刺に

新設した東北工場が完成した。約3億円を投じた同社最大規模の工場で、近く稼働予定。従業員は2025年度までに現行の3倍の260人に拡大する計画で、世界的な半導体需要の高まりに対応する。同社東北初の工場は工業団地・江刺フロンティアパークに立地し、21年秋に着工した。鉄骨造り3階建て、延べ床面積約1万7500平方メートル。稼働に合わせ、同市江刺の東北営業所が移転し3階に入る。半導体の製造工程は、ちりを入らない真空の環境下での作業が必要で、同社は真空環境をつくる装置を要拡大が予測され、真空環境

▲岩手日報(R5.7.7)

の設計・製造を手がける。部品も迅速で安定的供給が求められる。創業以来最大の工場というチャレンジャーと展望した。

半(日)	1060	640
半(夜)	1430	889
半(早)	1100	300
半(遅)	250	130
半(中)	1172	140

▲胆江日日(R4.10.8)

県産品の輸出促進期待



19日江刺で行われた輸出商展の作業風景。トラックにコンテナが積み込まれている様子。

江刺・白金運輸

県内各関係企業の輸出促進へ、新たな一歩を踏み出した。釜石港を活用し国際物流ルートを開拓する。県産品の輸出促進を目的とした「輸出商展」が、24日江刺の江刺港から始まった。その初回は、輸出商展の開催期間中、県産品の輸出促進を目的とした「輸出商展」が、24日江刺の江刺港から始まった。

チャーター便運行開始

釜石港活用国際物流ルート

県内各関係企業の輸出促進へ、新たな一歩を踏み出した。釜石港を活用し国際物流ルートを開拓する。県産品の輸出促進を目的とした「輸出商展」が、24日江刺の江刺港から始まった。

胆江日日(R4.7.20)▶

新規雇用50人予定

敷地内を休止していた工場に生産材料となる部品を搬入し、一部フロアを300㎡のウエハー製造ラインに改装する。新工場は、ウエハーからICパッケージングまでを一貫して生産する。新規雇用は50人予定。

電動車向けパワー半導体

トヨタ自動車グループの部品大手デンソー（愛知県豊田市）の100%子会社デンソー岩手（岩手県盛岡市）が、パワー半導体の生産を開始する。この部品は、電動車の駆動力を制御する。デンソー岩手は、パワー半導体の生産を開始する。この部品は、電動車の駆動力を制御する。

来年6月、130億円投資

デンソー岩手(株)部品量産へ

デンソー岩手(株)は、来年6月に130億円を投資して、パワー半導体の生産を開始する。この部品は、電動車の駆動力を制御する。デンソー岩手は、パワー半導体の生産を開始する。この部品は、電動車の駆動力を制御する。

釜石港を活用し国際物流ルートを開拓する。県産品の輸出促進を目的とした「輸出商展」が、24日江刺の江刺港から始まった。その初回は、輸出商展の開催期間中、県産品の輸出促進を目的とした「輸出商展」が、24日江刺の江刺港から始まった。

◀岩手日報(R4.10.15)

新聞記事等 (5/5)

岩手建設工業新聞(R5.9.22)▶

▼日本梱包運輸倉庫(株)HP

掲載日：2023-09-20

(仮称) 金ヶ崎倉庫 建設工事に伴う地鎮祭について

日本梱包運輸倉庫株式会社は2023年9月20日、岩手県盛岡市金ヶ崎町において(仮称)金ヶ崎倉庫の建設工事に伴う地鎮祭を行いました。

近年、このエリアは半導体関連および自動車関連企業の進出が進み、それに伴う物流・倉庫需要の増大に合わせて事業拡大を図るため、また、物流業界の2024年問題への課題解決に向け、中継輸送拠点の能力強化を図り、北東北エリアに向けた配送能力を拡大させるため、新たな拠点を整備してまいります。

(仮称)金ヶ崎倉庫は東北道「北上金ヶ崎IC」から3.7km(5分)、「水沢IC」から5km(7分)、国道4号線に面した位置にあり、北上市、金ヶ崎町、奥州市の各工業団地へすべて約30分以内でアクセス出来る利便性の高いロケーションとなっております。

営業開始は2025年2月を予定しており、鉄骨造2階建て倉庫の総床面積は26,151.38㎡、設備は、貨物用エレベータ5基、コンテナピット2レーン、2階の一部区画(6,429㎡)には空調設備の導入も計画しております。また、全天候型インターバースおよび高床ホームを備え、様々な条件の天候や車両に合わせた荷役作業が可能となります。

今後、北上営業所を母体とした北東北エリアへのハブ拠点として、当社グループの物流動線を活かした付加価値の高いサービスを提供し、幅広い物流網の構築を実現してまいります。



(完成予想図)

松井建設の施工担当で整備

日本梱包運輸倉庫 金ヶ崎町に倉庫の建設計画

貨物輸送網の日本梱包運輸倉庫(東の郡中央区、岩手正副代表取締役会長)は、金ヶ崎町三ヶ尻流音の国道4号沿いに(仮称)金ヶ崎倉庫の建設を計画している。同社北上営業所の営業用外部倉庫の位置付けとなるもので、設計を久慈設計、施工を松井建設が担当。25年2月の竣工、2～3月の利用を目指す。

同社は、貨物自動車運送や貨物利用輸送、倉庫や通関、航空運送代理店、内外物流の輸出入・販売などの総合物流サービス事業を展開する。県内では、花巻、北上に各営業所が立地する。

北上南部工業団地内に位置する北上営業所には、第一、第二倉庫が敷地内に立地する。運営する中で手狭となってきているほか、時間外労働の上限規制などの働き方改革関連法の施行に伴う物流業界の2024年問題を見据え、全国展開

する顧客企業への対応、北東北3県の中核も担う位置付けで、北上営業所として3棟目の倉庫を建設する。

建物は、鉄骨造2階建て延べ2万8151平方メートルの床面積となる。ドライ仕様をメインに、2階には空調も配備した倉庫とすることも検討するとしている。

倉庫には、ニーズを踏まえて自動車関連部品や半導体などを貯蔵する想定。北上営業所の外部倉庫の位置付けだが、事務所を備え常駐の人員も配置することとしている。

建設地は、国道4号沿いに位置し、東北自動車道北上金ヶ崎インターや水沢インターへのアクセス性が高い。秋田方面へのアクセスにも適した箇所として、建設を計画し土地を購入した。

20日には、現地での地鎮祭を開催。無事故での施工を祈念した。